

シバキープシャワープラス

使用前にはラベルをよく読む。記載以外には使用しない。小児の手の届く所には置かない。

農林水産省登録 第24978号

農薬の名称 シバキープシャワープラス

農薬の種類 アシュラム・MCP P 複合肥料

【成分】

- ・アシュラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0.10%
- ・メコプロップカリウム塩 (MCP P)・・ 0.20%
- ・肥料、水等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99.7%

保証肥料成分

登録番号 : 生第109566号

肥料の種類 : 家庭園芸用複合肥料

保証成分量 (%) : 窒素全量・・・・・・・・ 0.1

水溶性りん酸・・・・・・・・ 0.1

水溶性加里・・・・・・・・ 0.1

【性状】 淡黄色澄明水溶性液体

【適用雑草と使用方法】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数※
日本芝 (こうらいしば)	一年生雑草 多年生広葉雑草	芝生育期 (雑草生育期)	100 ~ 200 ml/m ² (原液散布)	雑草茎葉 散布	本剤、 アシュラム 及び MCP P を 含む農薬 3回 以内
	スギナ	春夏期芝生育期 (雑草生育期)			

※印は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

芝刈り・施肥・目土入れ等、通常の管理作業が行われた健康な芝生にご使用ください。

弱っている芝生に使用すると茶色く変色することがありますので、ご注意ください。

- 撒きすぎに注意：撒きすぎは芝に薬害の出るおそれがあるので、必ず使用量を守る。
- 高温時や異常乾燥時の使用注意：乾燥時や高温時は薬害の出るおそれがあるので使用しない。

- 芝植えつけ後、根切り後の使用注意：芝植え付け後1年以内や、根切り作業後3ヵ月以内には使用しない。
- 弱っている芝に注意：芝生が弱っている場合は使用しない。
- 萌芽期の使用注意：萌芽期の散布は、黄化や生育の遅延を生じる場合があるので注意。
- 西洋芝には使用しない

散布上のポイント

- ・ 薄めず原液のまま、雑草の茎葉全体にしっかりと薬液がかかるように散布します。雑草発生後で草丈が10cm以下のときに最も効果的です。
- ・ 日本芝（こうらいしば）の中に発生した一年生イネ科雑草、多年生広葉雑草、スギナに効果を発揮します。
※チガヤ、ササ、ススキ等の多年生イネ科雑草には効果がありません。
- ・ 約1週間で効き始めます（散布時期や雑草の種類、使用量等により差が生じます）。
- ・ 天気の良い日に散布してください。散布後6時間以内に雨が降ると成分が流れて効果が劣ります。
- ・ 芝生以外の枯らしたくない植物に薬液がかかると枯れるおそれがあるので、かからないように注意してください。

効果・薬害等の注意

- 生育期の雑草に有効なので、雑草の発生後生育期（草丈10cm以下）に茎葉に均一に散布する（効果）
- 一年生イネ科雑草に対しては効果発現まで時間を要するので、草丈が大きくなる前に使用する（効果）
- 散布後の降雨は効果を減るので、天候を見定めてから散布する。
- 高温期や異常乾燥時または芝生が弱っている時には使用しない（薬害）
- 萌芽期の散布は黄化や生育の遅延を生じる場合があるので、使用量を誤らないように注意する（薬害）
- 植え付け後や更新作業後の根が傷んでいる時期には使用しない（薬害）
- 草花、植木等周辺の植物にはかからないように注意して散布する（薬害）
- 西洋芝には使用しない（薬害）
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
- 飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。

- 使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 散布時は、農薬用マスクなどを着用する。作業後はうがいをする。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意。
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。



保管・・・・・・・・密栓し、直射日光をさけ、冷涼な所。
横にしないで立てて保管する。

★使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理する。

★空容器には他の薬剤を入れない。